

令和2年度 学校経営方針

令和2年4月10日
調布市立第六中学校長

1 学校の教育目標

- 自ら学び、考える生徒
- 命を大切にす生徒
- 何ごともやりぬく生徒

2 経営方針と方策

(1) 生徒一人一人の学習意欲を高め、学力向上を図る。

- ① 国、都、市の学力調査の結果等や生徒による授業評価の結果を参考に、学力に関する課題を把握し、「授業改善推進プラン」の作成、「調布ベーシック・プラン」の実施・評価・改善を通して、確かな学力の向上を図る。
- ② 主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、自ら学んだことを発表する、学習の内容をまとめるなどの言語活動を充実させるとともに、タブレット等のICT機器を活用し、思考力・判断力・表現力等を育む。
- ③ 各教科の指導方法や指導技術、評価方法の質的向上を図り、指導と評価の一体化を図るとともに、適切で信頼される評価・評定を実施する。
- ④ 数学・英語の少人数・習熟度別指導では、生徒一人一人の能力伸長を図るとともに、基礎的・基本的な内容を定着させる。

(2) 心の教育を充実させ、生命を尊重し、共に助け合って生きる態度を育成する。

- ① 道徳教育の全体計画に基づき、人権を尊重する心、自他の生命尊重や思いやる心、規則を尊重する心など生きる力の核となる豊かな人間性を、「特別の教科 道徳」を要とし学校の教育活動全体を通して育成する。
- ② 「特別の教科 道徳」においては、全体計画及び年間指導計画に基づき、各教科等と関連を図りながら、教科書や「私たちの道徳」を活用して、心にせまる授業を展開し、道徳的実践力を育成する。
- ③ いじめは絶対に許されない行為であるという共通認識のもとで、「学校いじめ防止対策基本方針」に基づき、未然防止、早期発見、早期対応に努める。
- ④ 特別支援教室の指導の充実を図るとともに、校内委員会で支援が必要な生徒の支援方法を検討し、校内通級教室との連携を図りながら、個別指導計画や個別の教育支援計画に基づいて指導・支援を行う。

(3) 豊かな体験活動を充実させ、心身共に健康に生きる生徒を育成する。

- ① 総合的な学習の時間においては、学校図書館を活用するとともに、ねらいを踏まえ、生徒自身が課題を見つけ、解決に向けて調査し、得られた結果をまとめ、考察し、それらを成果発表の場で表現する能力を育成する。

- ② 学級活動においては、全体計画及び年間指導計画に基づき、自己や集団生活の充実・向上を図るとともに、ガイダンス機能を高め、自発的、自主的な態度を育成する。
- ③ 学校行事においては、体育大会、合唱コンクールなどで個人または集団の目標を設定し、目標達成までのプロセスを重視するとともに、集団への所属感を深め、学校生活を充実・発展させようとする自主的、実践的な態度を育成する。
- ④ 望ましい食習慣を身に付けた健康な生活のために、食に関する指導の全体計画に基づき、食育を推進するとともに、食物アレルギーへの配慮を徹底し、誤食事故防止に努める。

(4) 保護者・地域との連携を深め、学校教育活動の活性化と健康・安全教育の充実に努める。

- ① 地域学校協働本部事業を活用し、ボランティアを活用した学習支援などを実施し、基礎学力を定着させ、学力の向上を図る。
- ② 東京都統一体力テスト及び全国体力テストの実施・評価やオリンピック・パラリンピック教育推進校の取組を通して、一校一取組運動を活用して、生徒の健康づくりや体力向上を図る。
- ③ カリキュラム・マネジメントを推進するとともに、児童・生徒の交流活動、教員研修等を通して、小・中学校の連携を図る。

(5) 集団生活を通して生活指導の充実に図り、安全で安心な学校環境を保持する。

- ① 授業、朝礼、学年集会をはじめ意図的・計画的な学年・学級経営を活用して、挨拶、礼儀、時刻を守る等の基本的な生活習慣について、継続的に指導する。
- ② 不登校生徒や生活指導上配慮が必要な生徒に対して、ガイダンス機能の充実に図り、スクールカウンセラーや関係機関と連携を図り、きめ細かな教育相談活動を実施する。
- ③ 安全で安心な学校環境を保持するために、学校安全計画に基づいた毎月の安全指導や避難訓練をはじめ、調布市防災教育の日、セーフティ教室、普通救命講習、薬物乱用防止・喫煙防止教室等を通して、危険回避や安全確保について計画的・継続的に指導するとともに、情報モラル教育を推進する。

(6) 予算編成・執行の適正化を図る。

- ① 経費節減と有効活用
従来から執行していた経費等について、より効果的・合理的な方法を検討して経費節減に努めるとともに、学習環境・生活環境を整備し、生徒が落ち着いた雰囲気の中で安全に学校生活を送れるよう、予算の有効活用を図る。
- ② 計画的な予算執行
年度当初から計画的に予算執行し、年度末になってまとめて執行することのないようにする。また、説明責任を果たし、公平・公正性の担保に努める。